

## 高梁市国民健康保険成羽病院

紙谷晋吾



## はじめに

当院のある高梁市は平成16年に旧高梁市と有漢、成羽、川上、備中の4町が合併して誕生した人口約3万2千人の市で、岡山県の中西部にあり、西は広島県に接しています。市内には、NHKの大河ドラマ「真田丸」のオープニング映像にも登場するなど話題の標高430mに築かれた「天空の山城」備中松山城や、日本最古の木造小学校として保存作業が進んでいる吹屋小学校のある観光名所吹屋ふるさと村などの見どころがあります。またJRの駅名に人物名が使われている唯一の方谷駅は幕末の改革者山田方谷の生誕の地です。

当院は昭和29年に国民健康保険病院として病床数40床で開院以来、60余年にわたり一貫して地域医療の確保に取り組んでまいりました。

歳月の経過と社会情勢が変化する中、施設の老朽化、耐震対策、また多様化する医療ニーズに対応するため、平成24年に新病院に建て替えを行いました。そして改築に合わせて医療のIT化を進め、電子カルテ、医療画像システムの整備、医療ネットワーク岡山（晴れやかネット）の

開示病院としての参加など、迅速かつ正確な情報の伝達・共有、患者サービスの向上、業務の効率化など医療安全対策の充実を図ってきました。

少子化、超高齢化社会へ変貌していく中において、救急告示病院、へき地医療拠点病院としての使命を全うできるように、地域の皆様のニーズに対応した医療に積極的に取り組むとともに、地域の医療機関・介護施設や行政機関との連携を図りながら、公平・公正な医療を提供し、地域住民の健康の維持・増進と、安全・安心の地域の発展に貢献していく方針です。

## 歴代病院長

初代 上村家門  
(昭和29年～平成5年)  
第2代 名和英明(平成5年～16年)  
第3代 森脇洋吉(平成16年～25年)  
第4代 紙谷晋吾(平成25年～)

## 病院の基本理念と基本方針

## 基本理念

保健・医療・福祉の連携を図り、地域の皆さまに親しまれ、信頼される病院を目指します。

## 基本方針

- ①へき地医療拠点病院としての、質の高い医療を推進します。
- ②各医療機関と密接に連携し、医療の充実向上に努めます。
- ③患者様の権利を尊重し、真心のこもった医療を実践します。
- ④患者様の安全対策に努め、医療事故のない病院を目指します。
- ⑤健全な病院経営に努め、良質な医療サービスの提供に努めます。

## 沿革と概要

当院は昭和29年9月に国民健康保険適用の病院として開設以来、高梁・新見保健医療圏内唯一の公立病院として昭和56年にはへき地中核病院に指定され、平成14年からはへき地医療拠点病院として地域住民の要望に対応しつつ、過疎地域の医療を担ってきました。

沿革は、次の通りです。

- 昭和29年9月 成羽病院開設(内科、外科、産婦人科、一般40床)
- 昭和32年 備北伝染病隔離病舎組合立伝染病棟併設
- 昭和39年 救急病院指定
- 昭和44年 病院改築(一般120床、結核40床、伝染23床、計183床)
- 昭和50年 本館増築(一般136床へ増床、計199床)
- 昭和54年 高梁・阿新圏域二次救急病院指定
- 昭和55年 全身用X線コンピューター断層撮影装置(CT)導入
- 昭和56年 へき地中核病院に指定
- 昭和59年 訪問看護開始
- 昭和62年 備北伝染病隔離病舎組合解散(一般136床、結核40床、計176床)

平成元年 健康管理センター，デイサービスセンター複合施設開設  
平成4年 磁気共鳴断層撮影装置（MRI）導入  
平成11年 一般病床の一部を療養型病床に移行（一般106床，療養30床，結核40床，計176床）  
平成12年 療養病床を医療型療養，介護型療養に移行（一般106床，医療型療養20床，介護型療養10床，結核40床）  
平成14年 へき地医療拠点病院指定  
平成16年 結核病床廃止（一般106床，医療型療養20床，介護型療養10床，計136床）市町村合併により高梁市立となる  
平成20年 介護型療養を医療型へ移行（一般106床，医療型療養30床）  
平成24年 病院新築完成（一般54床，医療型療養42床，計96床）  
平成27年 地域包括ケア病床10床を一般病床に開設（一般54床うち地域包括ケア病床10床，医療型療養42床，計96床）し，現在に至る  
診療科は昭和46年には整形外科（常勤）新設し，54年に耳鼻咽喉科，

57年理学診療科，平成2年皮膚科，5年放射線科，6年小児科（常勤），10年眼科新設し，産婦人科を婦人科に変更しました。現在診療科は10科（内科，外科，小児科，整形外科，皮膚科，眼科，耳鼻咽喉科，婦人科，リハビリテーション科，放射線科）を標榜し，常勤医は7名，非常勤医師12名で岡山大学，川崎医科大学などから派遣を受けています。主として岡山大学からの御支援を賜りながら診療体制を維持しています。

その間昭和53年には付属吹屋診療所開設し，56年には田原診療所，58年には湯野出張診療所へ医師派遣を開始しました。平成16年には市町村合併により高梁市立病院となり，田原，湯野診療所を付属診療所としました。平成25年より宇治診療所の委託管理を開始，平成28年よりへき地診療所である備中診療所，平川診療所を付属診療所として医師の派遣を開始し，計6ヵ所のへき地診療所などでの診療にあたっています。

また昭和61年には第一回自治体優良病院自治大臣表彰受賞，平成15年には全国自治体病院協議会創立50周年記念総務大臣表彰受賞しました。

## 今後の課題と展望

2025年問題が現在の医療体制の大変革をもたらしていますが，当地で

はさらに少子高齢化が著しく高齢化率は38%を超えています。また高齢者数もピークを過ぎ，すでに減少局面に入っています。この人口問題を端緒とした医療制度の大変換期にあたり，都市部とは明らかに異なる事情の中で当院が今後も地域の中核病院として存続し続けるには，まず地域包括ケアシステムの中核として機能することと考えており，地域のニーズに柔軟に対応できる体制を構築していく必要があります。人口減少により消滅が危惧されることが現実味を帯びてきており，地域を守るためには欠かせない医療のインフラを守るという国保直診としての役割を果たし，地域医療構想の中での立ち位置を明確にしていきたいと思えます。

そして今後とも地域の患者様に親しまれ，信頼される病院であり続けるよう，職員一同努めてまいります。

最後になりましたが，岡山大学専門の諸先生方には，これからもご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

---

平成28年8月受理

〒716-0111 高梁市成羽町下原301

電話：0866-42-3111 FAX：0866-42-2970

E-mail：shingo\_kamitani@city.takahashi.lg.jp

http://www.city.takahashi.okayama.jp/site/nariwahospital/